

南会津地域感染症通信1月号

調査対象期間51週～3週(12月18日～1月21日)

令和6年1月
南会津保健所
電話 0241-63-0306



感染症の発生状況について ※福島県感染症発生動向調査週報 2024 年第3週(1月15日～21日)より

インフルエンザ警報は継続中

引き続き、場面に応じたマスクの着用、こまめな換気や手洗いなど、基本的な感染対策を！

県内の定点医療機関数 82カ所

定点当たりの報告数(保健所管内別)

	保健所管内別の内訳									県全体
	福島市	県北	郡山市	県中	県南	会津	南会津	相双	いわき市	
第2週 (1/8～1/14)	11.25	11.33	10.77	5.44	15.57	16.30	6.00	13.00	20.23	12.89
第3週 (1/15～1/21)	11.33	11.89	14.15	9.67	9.86	21.00	12.67	24.67	28.38	16.44
前週差	0.08	0.56	3.38	4.23	▲5.71	4.70	6.67	11.67	8.15	3.55

※ 前週差 = 当該週の定点当たりの報告数 - 前週の定点当たりの報告数

定点報告数の年代別割合

	年代別の内訳									県全体
	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	
第2週 (1/8～1/14)	42.5%	23.1%	8.0%	6.3%	5.0%	5.4%	3.9%	2.7%	3.0%	100.0%
第3週 (1/15～1/21)	52.5%	27.2%	3.7%	4.1%	4.5%	2.4%	2.0%	1.6%	2.0%	100.0%
前週差	10.0%	4.1%	▲4.3%	▲2.2%	▲0.5%	▲3.0%	▲1.9%	▲1.1%	▲1.0%	

※ 前週差 = 当該週の年代別割合 - 前週の年代別割合

(今月のトピックス) エアロゾル感染について ～換気、行えていますか？～

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染経路はウイルスを含む飛沫を吸入する(飛沫感染)又は、エアロゾルと呼ばれる飛沫よりも更に小さな水分を含んだ状態の粒子を吸入する(エアロゾル感染)か、接触感染といわれています。エアロゾルは2メートルを超えて空気中にとどまるため、換気が不十分な室内や、混雑した室内に長時間滞在すると、エアロゾルによる感染が拡大するリスクがあります。

【冬場における換気のポイント】

1 暖房器具を使用しながら換気を行う。

(窓開けを行うと、一時的に室内温度が低くなるため。)

2 暖房器具の近くの窓を開ける。

(入ってくる冷気が暖められるので、室温の低下を防ぐことができる。)

火災に注意 ストープ等の位置は、カーテン等の燃えやすい物から距離をあげる

3 短時間に窓を全開よりも、一方向の窓を少しだけ開けて常時換気を確保する。

(室温変化を抑えられ、暖房によって室内・室外の温度差が維持できれば、十分な換気量が得られる。)

4 少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れる。

(外からの空気を人がいない部屋や廊下を経由して取り入れるのも室温を維持するために有効。)

5 窓を十分に開けられない場合などは HEPA フィルターによるろ過式の空気清浄機を併用する。

※HEPA フィルタは、「高性能エアフィルター」とも呼ばれること

もあり、国内メーカーの多くの空気清浄機で使用されており、空気中に含まれる微粒子を取り除くことができます。

